

ポーランド・マクロ経済情勢

2019年10月
在ポーランド日本国大使館
経 済 班

ポイント

1 経済成長率は上昇基調

2018年のGDP成長率は5.1%で、好調な経済成長を遂げている（2016年は2.9%、2017年は4.8%）。政策金利は史上最低の1.5%を維持している。

2 生産は減速、消費は緩やかに拡大

8月の鉱工業生産は前年同月比1.3%減、小売販売は対前年同月比4.4%増。生産は減速したが、消費は引き続き緩やかに拡大している。

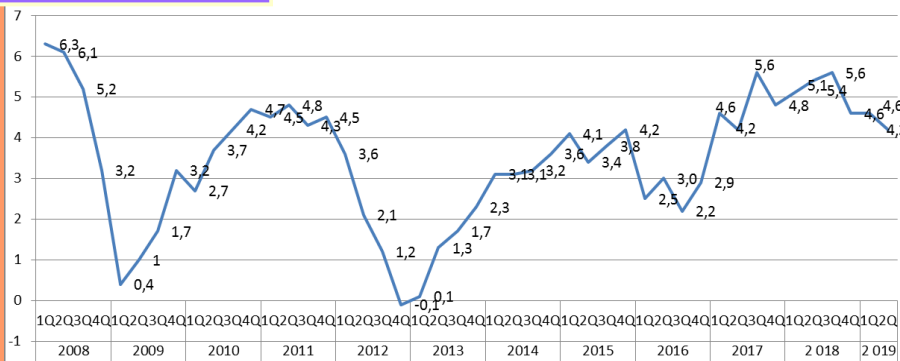
3 物価は上昇傾向

8月の消費者物価指数（CPI）は、対前年同月比2.9%上昇。2018年11月以来、中央銀行のインフレ目標値2.5±1%の下限値（1.5%）を下回っていたが、2019年3月以降、目標値の範囲内で推移している。

4 失業率は過去最低水準、賃金は上昇継続

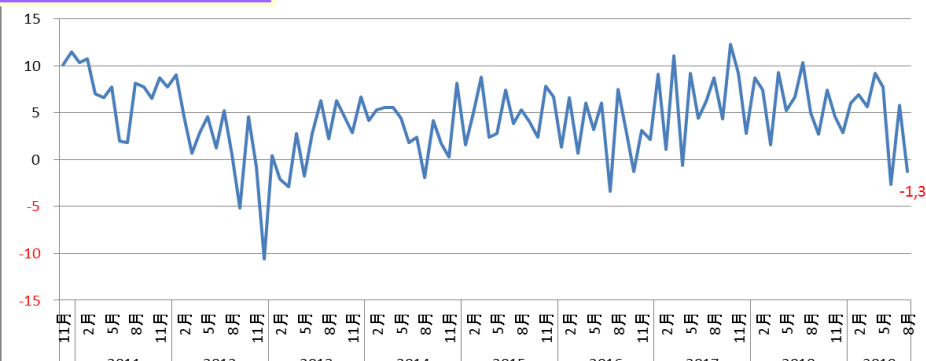
8月の失業率は5.2%、平均賃金上昇率は対前年同月比6.8%増。失業率は前月から横ばい。

経済成長



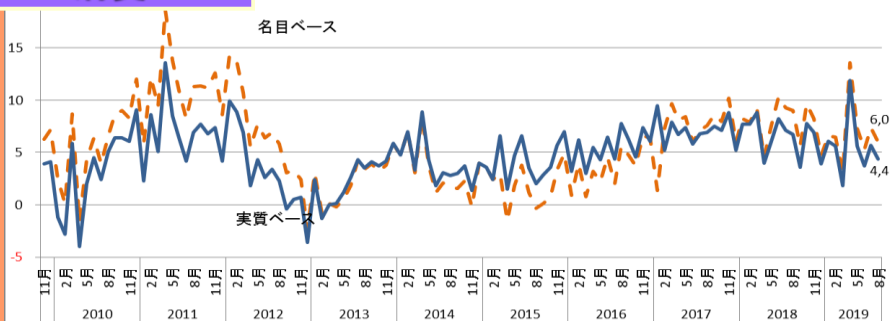
経済成長率は2016年よりも大幅に上昇。消費の伸びやEU基金を活用したインフラ整備等が寄与。

生産



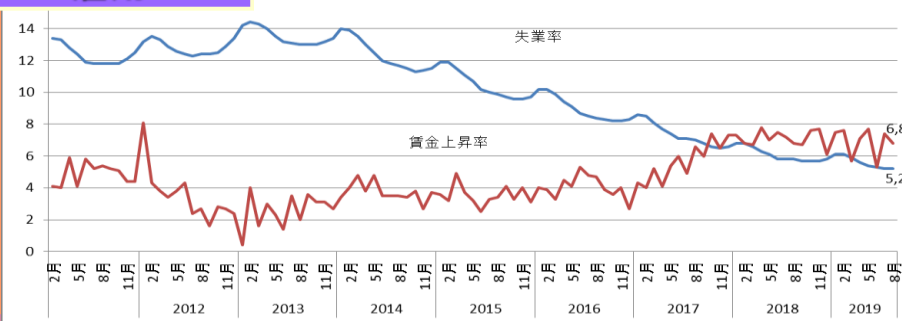
鉱工業生産は対前年同月比1.3%低下と減速傾向にある。

消費



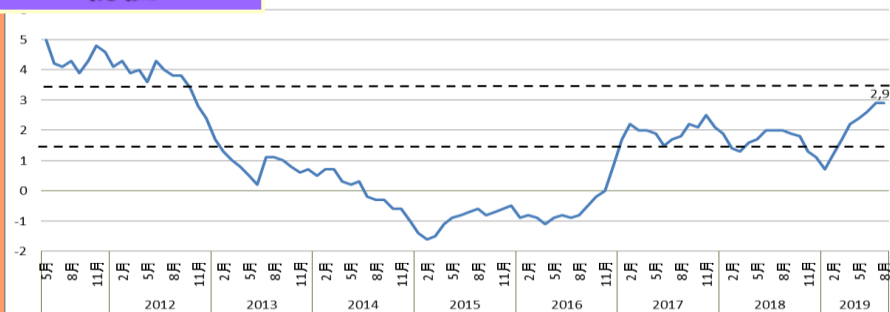
小売販売は対前年同月比4.4%増で、引き続き緩やかに拡大している。

雇用



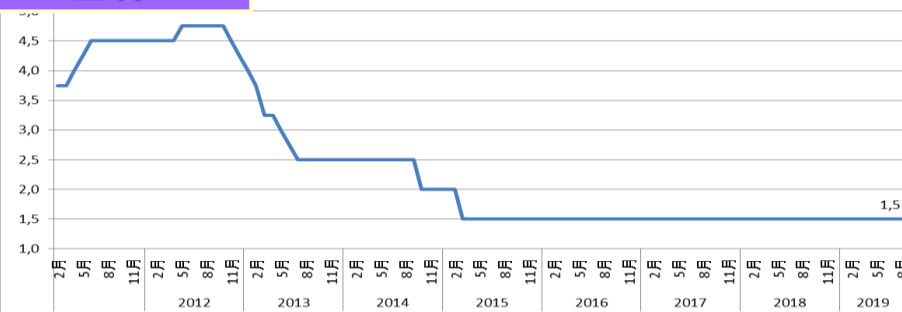
8月の失業率は5.2%と前月から横ばい。平均賃金上昇率は対前年同月比6.8%増と引き続き上昇傾向にある。

物価



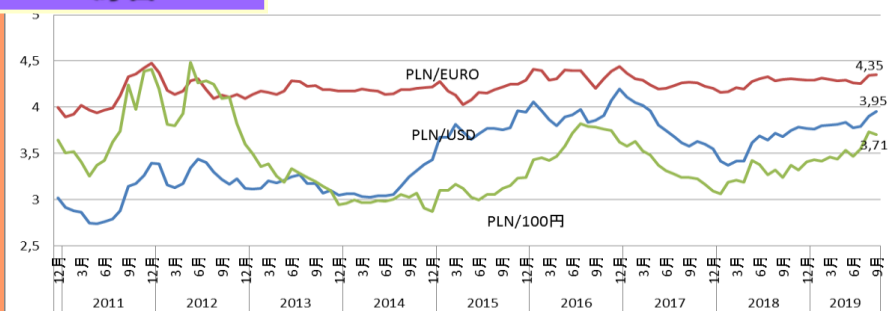
8月のCPIは対前年同月比2.9%上昇。2018年11月以来、中央銀行のインフレ目標値2.5±1%の下限値(1.5%)を下回っていたが、2019年3月以降、目標値の範囲内で推移。

金利



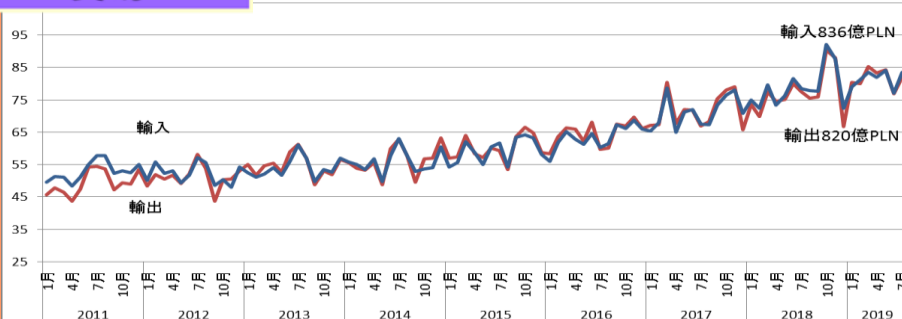
政策金利は2015年3月以来、史上最低の1.5%を維持している。

為替



9月の平均為替は、対ユーロ(4.35ズロチ)及び対ドル(3.95ズロチ)でズロチ安、対日本円(3.71ズロチ)でズロチ高が進んだ。

貿易



7月の輸出は約820億ズロチ、輸入は約836億ズロチで約16億ズロチの貿易赤字となった(6月は1億ズロチの貿易黒字)。